

令和 2 年 7 月 10 日現在

機関番号：24505

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16K12339

研究課題名（和文）保健師のコミュニティに対するケアリング概念の構築と測定方法の開発

研究課題名（英文）Clarification of caring concept for community of public health nurses and development of measuring method

研究代表者

岩本 里織 (iwamoto, saori)

神戸市看護大学・看護学部・教授

研究者番号：20321276

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：ケアリングは看護における主要な理論であるが、コミュニティに対するケアリングについては、国内外において明らかではない。本研究は、コミュニティを対象としたケアリングの概念について明らかにした。コミュニティを対象にしたケアリングには、保健師のケアリングのマインド・価値、そしてコミュニティへのケアリングを行う行為、コミュニティにおける住民や専門職のケアリング関係（ケアリングコミュニティ）の3つの構成仮説が明らかになった。さらにケアリング・コミュニティに関する概念分析の結果、その定義を明らかにした。さらに保健師のケアリングのマインドについて保健師のインタビュー調査をもとにした質的分析により明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ケアリングは対個人への看護に関して用いられることが多い概念であるが、コミュニティに対するケアリングについて既存の書物等で言及されているが具体的に述べた論文等はなかった。本研究では、コミュニティに対するケアリングのモデル（仮説）を構築したこと、コミュニティにおけるケアリングを明確にしたこと、保健師のケアリングの姿勢を明らかにしたことは、学術的価値があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：Caring is the main theory in nursing, but caring for the community is not clear in the world. This research clarified the concept of caring for the community. There were three constituent hypotheses of caring for the community: the mind and value of caring by public health nurses, the act of caring for the community, and the caring relationship between residents and professionals in the community (caring community). Furthermore, as a result of the concept analysis about the caring community, its definition was clarified. And, the caring mindset of public health nurse was clarified by a qualitative analysis based on an interview survey of public health nurses.

研究分野：公衆衛生看護学分野

キーワード：ケアリング コミュニティケアリング 保健師 倫理 地区活動

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

「ケアリング」は重要な看護理論の一つであるが、日本においては個人・家族をターゲットにおいたものとの捉え方が一般的であり、集団や地域に対するケアリングについては言及されているものは少ない。また公衆衛生看護におけるケアの考え方においても、「ケアリング」の考えは取り入れられてこなかった。

コミュニティに対するケアリングは、保健師が対象とするコミュニティ(地域に住む個々、集団、地域全体を指す)に対する支援の態度・思考などの心の姿勢であり、保健師活動の根幹を成すものであると考えた。日本の保健師活動にマッチしたコミュニティに対するケアリングの概念を明らかにし、それを測定可能にし、学生や保健師へ教育していくことで、コミュニティのすべての人々や集団・地域の健康を護る保健師の思考・態度などを形成することにつながると考えた。さらに保健師のコミュニティに対するケアリングの態度・思考は、高い保健師の実践力へとつながり、質の高い公衆衛生看護活動に関連していると考えた。

ケアリングとは、哲学者であるメイヤロフは「相手を育てることであり自己実現を助けることである」と同時にこのケア/ケアリングを通してケアする人も共に成長していくものである」と述べている。看護理論家であるワトソンは、ケアとケアリングを区別し、ケアは看護の具体的な行為であり、ケアリングは態度(心の姿勢)であると述べている。川野は、ケアリングを他者にケアをしたいと思う心、態度、動機づけとしている。ローチ博士は、ケアリングは人間の生き方であり、思いやり、高いレベルの知識・技術を伴う能力、信頼、道徳的な判断力としての良心、責任に基づく応答にあるとしている。コミュニティに対するケアリングについては、比較文化的な看護ケアリング理論家のレニングがケアリングの対象に「集団」を挙げている。英国の研究者らはケアリング理論を地域アセスメントへの応用を試みて活用可能性を検証し(Falk, 2000)ている。

このようにケアリングは、対象に対する思考・態度、ケアしたいと思う心、信頼、良心、心の姿勢などを示し、個人・家族のみならず保健師が対象とするコミュニティ(個人・家族、集団、地域)に対するケアリングとしての適用することが可能であり、米国・英国ではこれらに関する研究が進められている。

日本においては地域看護・公衆衛生看護領域で「ケアリング」理論を用いているものはみられない。福祉領域では、「ケアリング・コミュニティ」の用語がいくつかの文献で用いられ、それは「福祉サービスを必要とする人を社会的に排除するのではなく、地域社会を構成する1人として包摂するもの」の意に用いられている。つまりこれはケアリング関係が構築されているコミュニティの在り方について述べている。

以上の研究から、本研究では、コミュニティに関連するケアリングの概念を明らかにすることが必要であると考え、これは、質の高い地域活動の実践者につながると考えた。

### 2. 研究の目的

#### 1)

##### 目的

本研究は、日本における保健師のコミュニティに対する「ケアリング」の概念の構築のために、コミュニティに対するケアリングのモデルの仮説を作成する(調査1)。

##### 目的

モデル構築の結果、コミュニティへのケアリングには、3つの構成概念が生じており、1つは保健師のコミュニティに対する思考・価値、2つはケアリング・コミュニティを目指した行為、3つにコミュニティの中の相互のケアリング(ケアリング・コミュニティ)があることが過程され、その中の、コミュニティの中の相互のケアリング(ケアリング・コミュニティ)について明らかにする(調査2)。

##### 目的

モデル構築の結果、コミュニティへのケアリングには、3つの構成概念が生じており、1つは保健師のコミュニティに対するケアリングの思考・価値、2つはケアリング・コミュニティを目指した行為、3つにコミュニティの中の相互のケアリング(ケアリング・コミュニティ)があることが過程され、その中の、保健師のコミュニティに対するケアリングの思考・価値について明らかにする(調査3)。

### 3. 研究の方法

1)調査1について:研究者間のディスカッション等およびケアリングに関する既存文献の整理から、コミュニティに対するケアリングのモデルの仮説を立案した。

2)調査2について:コミュニティに対するケアリングモデルの仮説に基づき、コミュニティにおけるケアリングについて、既存文献から概念分析を行い、明らかにした。具体的には、対象文献と選定方法は、医学中央雑誌とCiNiiから、「コミュニティ」と「ケアリング」の両者を含むキーワードで検索し医学中央雑誌30件、CiNii28件がヒットした。それらの内容を検討し、本研究の目的に該当する文献を抽出し、さらにそれらの文献に記載された参考文献のうち本研究目的に該当するものを追加した結果、合計10文献(8)-17)を分析対象の文献とした。分析方法は、抽出文献からコミュニティに関するケアリングについての記述をRogerdsの概念分析の手法を参考にして、概念の属性(概念を構成する特性)・先行要件(概念に先行して生じる要件)・

帰結(概念の結果としてもたらされるもの)と考えられる箇所について文章単位でエクセル上のワークシートに抽出し、それぞれについて類似するものをカテゴリ化した。

### 3) 調査3について:

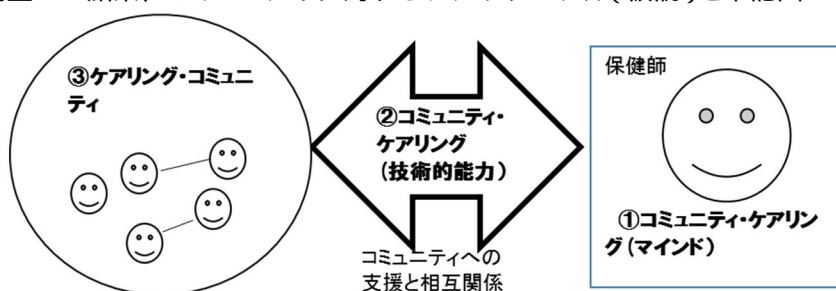
研究参加者は、コミュニティに対する熟練した活動経験がある行政保健師とし、その選定は、地域看護に関する学術誌・商業誌などでコミュニティを対象とした活動などの執筆があった著者や、研究者が所属する研究会等に参加する地域看護を専門とする学識経験者および実践者からの紹介によるもので、保健師経験5年以上の者9名への調査を行った。なお、学識経験者や実践者へは研究者から研究の目的・内容等および対象とする研究参加者の条件を口頭で伝え、該当すると思われる研究参加者に研究者への連絡先の伝達と研究について話を聞いてもよいという承諾を得ていただいた上で、紹介をいただいた。調査内容:地域や地域住民に対する思いや活動内容であり、分析はインタビューの逐語録からコミュニティに対するケアリング(心の姿勢・思い)を抽出後コード化し類似するものをカテゴリ化した。

### 4) 倫理審査について

本研究について、徳島大学臨床研究センタ(申請日20170315 審査日20170424 視線番号2836)および神戸市看護大学倫理審査委員会の承認を得て実施した。

## 4. 研究成果

1) 調査1の結果、コミュニティに対するケアリングモデル(仮説)を下記図1のとおり構築した。



コミュニティに関するケアリング・モデル(案)

本モデル案では、保健師のコミュニティ・ケアリング・マインド(保健師のコミュニティに対する思い・態度・価値観)、保健師のコミュニティに対するケアリング(行為としてのケアリングである技術的能力)、ケアリング・コミュニティ(コミュニティの中で生じているケアリングの関係)である。

2) 調査2の既存文献の概念分析の結果、上記モデル案では ケアリング・コミュニティ(コミュニティの中で生じているケアリングの関係)については、下記の表1-3の概念が抽出された。

ケアリング・コミュニティの定義:この結果から、ケアリング・コミュニティとは、「人々が、コミュニティへの愛着を持ち、古い慣習にとらわれない新しい価値観による強い連帯感が生じる状態である。またケアする人・される人が対等な関係性を持ち、共生性と相互扶助性があり、人々に思いやりが浸透し、すべての人々を包摂した社会的排除がないコミュニティの状態である。」と定義した。

#### コミュニティ・ケアリングの概念の特性

コミュニティに関するケアリングが用いられている文献については、今回の検索では、福祉やリハビリテーションおよび学校教育領域があった。看護や医学領域においては、コミュニティに対するケアリングの考え方をういた文献は2件のみであった。コミュニティ・ケアリングは、ケアニーズを持つ者へのケアを通じて生じるコミュニティの状態として捉えられており、そのために、「ケアする人・される人が対等な関係性」「共生性」「相互扶助性」の概念が生じ、かつ、社会的排除がない状態であることが挙げられる。つまり、何らかの病気や障害を抱える人たちへのケアは、ケアの提供という目に見える手段的要素があるが、ケアする側はケアされる側から<可視化できない>ものを受け取る相互扶助性、双方向性があり、これにより一方的な関係ではない対等な関係性がある。

メイヤロフは、相手をケアすることは、相手の成長を助けようと試みるのではなく、そのことによって自分自身が成長し、自己実現することであると述べており、ケアリングの本質的な現象である。さらに、この関係性は、個々の関係性に留まるのではなく、コミュニティの全ての人たちに拡大し浸透していくものと捉えられる。その背景には、コミュニティへの愛着心がある。この愛着心は、従来型の土着や居住歴などから生じるものだけではない。近年、地域社会における地縁関係が希薄化していることが言われているが、そういった単なる地縁関係に留まらない「新しい価値観」による繋がりを構築していくことも含まれるものである。メイヤロフは、ケアリングの基本パターンとして、ケアする対象を自分の延長のように感じることで述べて

いる。このことは、コミュニティ・ケアリングにおける【コミュニティへの愛着心】と共通していると考ええる。

本結果においては、コミュニティ・ケアリングの属性カテゴリとして8つが抽出され、それに基づき定義を試みた。しかし、今回定義したコミュニティ・ケアリングについては、定義のすべての状況が揃っていないくても、コミュニティ・ケアリングが生じている状態を示すと考える。これは、コミュニティは、多様性があり、多様なコミュニティ・ケアリングの状態が生じるからである。

本研究では、コミュニティ・ケアリングの概念について明確にした。これは、保健師らコミュニティ（地域・集団）を支援する専門職が、コミュニティを支援する際に目指すコミュニティの状態として意識していくなどの活用が可能と考える。

本研究で用いた文献は、保健医療の領域に限定せず広い分野での文献を収集したもののコミュニティに関するケアリングについて記述したものがほとんどなく、該当文献が10編のみであったことは、本研究の概念分析における限界である。今後、抽出した概念を参考にしながら、このような活動を展開している保健師等へのインタビューを通して、本概念の妥当性を検討することが必要と考える。しかしながら、現在は、コミュニティにおけるケアリングに関する定義化を試みないまま、ケアリングを行ってきた現状がある中、今回本定義をしたことは、意義があることと考える。

3) 調査の結果、9名の保健師へのインタビュー調査を実施し、分析した結果、保健師のコミュニティに対するケアリングとして、表4の12のコアカテゴリが抽出された。

ケアリングの概念は、多様な理論家により、「態度や心」の要素と「行為」的な要素があるが、本結果では、前者を明らかにした。本結果により、保健師のコミュニティに対するケアリングとして、コミュニティへの愛着を持ち、コミュニティの将来を描き、地域の中で住民同士や専門職及び保健師の支援の対象となっている人たちが繋がることなどが明らかになった。メイヤロフは、ケアリングについて「ケアする人とケアされる人に生じる変化とともに成長発展をとげる関係をさしている」と述べているが、本結果からも、地域を支援することで保健師としての自己の成長にもなることが挙げられた。

表1 コミュニティ・ケアリングの属性

カテゴリ	サブカテゴリ	内容
共生性と相互扶助性	共に生き、相互に支え合う関係性	共に生き相互に支え合う、人々の共同性、お互い様、互酬性、相互性、相互扶助、安心して付き合う関係
	共に学び合う関係性	学び合う関係
	自然発生的な相互扶助	歴史的な文化の積み重ねによる自然発生的な相互扶助
	近隣との相互扶助	近隣関係の良好さ、近隣同士のおすそ分け
	世代を超えたつながり	世代を超えた関係
コミュニティの人たちの連帯感	インフォーマルサポート間の強いネットワーク	家族と近隣のインフォーマルサポートネットワークが強化、顔なじみの関係
	人のつながりを重要視	人とのつながりを大切にする
新しい価値観によるつながり	意識的な活動による新しい価値観の創出しがらみを超えた新しい人々のつながり	従来の関係性から変革した新しい価値観による地域づくり
	ケアする人・される人が双方向の関係	古い因習やしがらみを超えた新たな繋がり
ケアする人・される人が対等な関係性	双方向の関係性、お互いに支え合う	双方向の関係性、お互いに支え合う
	可視化できない双方向の関係	見える見えないに関わらない双方向性
	コミュニティのすべての人々の対等性	対等な立場で議論、所属や役割を超えた関係性、協働、ケアする人・される人が対等
	インフォーマルサービスとフォーマルサービスの有機的なつながり	インフォーマル・フォーマルサービス内外の連携
すべての人々を包摂した社会的排除がないコミュニティ	社会的排除がない地域	サービスを必要とする人を社会的に排除しない社会、自殺やうつ病などに偏見や差別のない社会、精神的な問題を抱えた人を受け入れる社会
	支援を要する人を包摂した社会	福祉サービスを必要とする人を包摂する社会
	全ての人々が唯一無二の存在	全ての人々が唯一無二の存在である
	多様性の容認	多様性の容認する価値観
すべての人々に浸透する思いやり	人々が楽しく生きがいをもち	誰もが楽しめる、人々が生きがいをもち
	すべての人々に思いやりが浸透する	社会構成員のすべてのよい行いがいきわたる
コミュニティへの愛着心	人々の郷土愛	強い郷土愛や盛んな近所付き合い、地域への愛着がインフォーマルサポートの基盤

表2 コミュニティ・ケアリングの先行要件

カテゴリ	サブカテゴリ	内容
住民同士の相互扶助関係の構築	人々の相互扶助関係を構築	人と人が支え合う関係形成の構築、ケアを形づくる相互の関係性の構築、支援を必要としている人への支援の提供
	住民の主体的学習へのアプローチ	地域住民の主体的な学習、教育的アプローチ、地域の社会資源や心構えを学ぶ機会
	当事者性の育成	ケアを受ける側のエンパワメント、ケアを受ける側がケアする側との関係性を構築する支援、当事者性を育む
	相互扶助関係の体験的学習	相互関係の体験を共有する場
変化する地域生活に対応した新たな人々の関係性構築	人々の生活の変化による関係性の変化	近隣との付き合いの把握、変化する地域の生活圏に対応、家族構成や家族関係の変化の把握、日常生活圏の変化の把握
	人々の新たな結びつきの構築	新たな人々の結びつきと信頼関係の構築、顕在化・潜在化している住民ネットワークの強化
	地域社会の創造的変革の実践	コミュニティケアリングを高める方策の創造的提起、地域社会を創造的に変革していく実践
住民の自立と参加の促進	住民の自立性を支援	住民の自立生活の支援、住民の自主的な地域づくりの力量形成、住民自治によるローカルマネジメント
	住民の社会参加の促進	地域住民の社会的活動参加、家族以外の他人との地域交流
住民や専門職の枠を超えた協働	専門職の枠を超えた協働	多様な暮らしに関わる職種による議論、医療・保健・福祉分野の相互連携、多職種の協働
	住民と行政の協働	官民協働、官民学協働、行政と住民の協働を媒介
インフォーマル・フォーマルサービスのネットワーク化	フォーマル・インフォーマルサービスを橋渡し	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの有機的な連携支援、制度の枠組みを超えた関係構築
	計画的なインフォーマルサービスのネットワーク化	インフォーマルサポートネットワーク強化を図る計画的な活動
ニーズの把握とサービスの提供	地域のニーズの把握	地域のニーズをきめ細かく把握、ニーズを再確認
	当事者ニーズに応じたサポート	悩みを抱える人へのサポート、当事者が望む場所・方法でサポート、身近に気軽に相談できる人・場
財源と人材の確保 社会的排除をしない制度の構築	財源・人材の確保	財源・人材の確保が必要
	社会的排除をしない社会制度の構築	社会的排除がない制度の策定、生活上の様々な不利の解消
	共生社会を育む政策	共生社会に向けたケア制度政策(ソーシャルインクルージョン)

表3 コミュニティ・ケアリングの帰結

カテゴリ	サブカテ	内容
コミュニティによる主体的な課題解決	多様な地域課題の解決	地域の多様な課題を解決、偏見差別がない社会による自殺の予防、住民の孤立予防
	住民が主体的に地域の問題を解決	住民が主体的に地域や生活の問題を解決
当事者の主体化	支援を受ける側の意識の開放	支援を受ける側の意識の開放、支援を受ける側の主体化、マイナリティが自信を持てる社会
	生活の不利を跳ね返す力の向上	生活の不条件を跳ね返す
コミュニティの創造と変革	地域の豊かさの向上	地域のwell-beingの向上、地域福祉力の向上、地域が豊かになる
	地域や社会の変革	社会の在り方の変化
	公平で共に生きる社会の創設	公平な社会
	安全安心な地域	安全安心な地域
	地域再生	地域再生

表4 保健師のコミュニティに対するケアリング

コアカテゴリ
コミュニティの将来を描く
コミュニティを愛する
住民同士も専門職も支援を要する者もお互いに助け合う地域を願う
コミュニティの人たちの繋がりを大切に思う
コミュニティの人たちの思いを叶える
コミュニティの変化を信じる
地域と一つになる
地域や地域の人々を信じる
コミュニティをサポートすることで自分が成長する
地域と地域の人々の命に責任を持つ
コミュニティとともに歩む
地域や地域の人々を理解する

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 岩本 里織, 岡本 玲子, 名原 壽子, 松下 恭子, 多田 美由貴, 岡久 玲子	4. 巻 8
2. 論文標題 生存権を護る活動指標の開発 エキスパート保健師による項目重要性認識を根拠に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本公衆衛生看護学会誌	6. 最初と最後の頁 33-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本 里織, 合田 加代子, 松下 恭子, 岡久 玲子, 多田 美由貴, 谷岡 哲也, ロクシン デ カストロ ロ ザーノ	4. 巻 63
2. 論文標題 コミュニティに関するケアリングの概念分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 四国公衆衛生学会誌	6. 最初と最後の頁 77-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩本里織, 岸田佐智, ロクシンロザーノ, ジャーロットバリー	4. 巻 15
2. 論文標題 フロリダアトランティック大学におけるコミュニティへのケアリングの取り組みの視察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of Nurisng Investigation	6. 最初と最後の頁 19-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 岩本里織, 合田加代子, 松下恭子, 岡久玲子, 多田美由貴
2. 発表標題 保健師のコミュニティに対するケアリング概念に関する研究
3. 学会等名 日本公衆衛生看護学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岩本里織、合田加代子、松下恭子、岡久玲子、多田美由貴
2. 発表標題 保健師が持つコミュニティに対するケアリングの前提的価値観～過疎化が進むA町での保健師活動から～
3. 学会等名 日本公衆衛生看護学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩本里織, 松下恭子, 岡久玲子, 多田美由貴, 合田加代子
2. 発表標題 コミュニティに関するケアリングの概念についての分析 文献検討から
3. 学会等名 日本公衆衛生学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Saori Iwamoto
2. 発表標題 Developing a Theory of Community Caring for Public Health Nursing
3. 学会等名 FIRST INTERNATIONAL NURSING RESEARCH SUMMIT UERMMCI (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	松下 恭子  (Matushita Yasuko)  (10325293)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部(医学域)・准教授   (16101)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岡久 玲子 (Okahisa Reiko) (80515619)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部（医学域）・教授  (16101)	
研究分担者	多田 美由貴 (Tada Miyuki) (50732004)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部（医学域）・助教  (16101)	
研究分担者	合田 加代子 (Goda Kayoko) (20353146)	甲南女子大学・看護リハビリテーション学部・教授  (34507)	
研究分担者	L o c s i n R o z z a n o (Locsin Rozano) (60747814)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部（医学域）・教授  (16101)	
研究分担者	谷岡 哲也 (Tanioka Tetuya) (90319997)	徳島大学・大学院医歯薬学研究部（医学域）・教授  (16101)	